

学術情報ウェブサービス担当者研修 Day1

2015年9月2日（水）

国立情報学研究所（NII）

コーディネーター：

岡本真

ファシリテーター：

千葉浩之、遠山正宏、森美由紀、
常川真央、塩野真弓、石黒康太

アシスタント：

藤田方江、高井浩司

講義（1）

「学術情報流通の現状と課題」

9:45-10:15（30分）

大向一輝

国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 准教授

講義（2）

「学術情報ウェブサービス担当者研修2014 を振り返って」

10:15-10:45（30分）

塩野真弓・京都大学

《休憩》

10:45-11:00 (15分)

午前中最後の休憩です。

オリエンテーション ー研修の開始にあたって

11:00-11:15 (15分)

全体の概観

本研修の全体計画

目的：

1. 最新のウェブ技術やコンテンツ、サービスに関する**知識**を修得し、
2. それらを活用した新たな学術情報の提供・発信サービスの**企画力**を身に付ける。

目標：

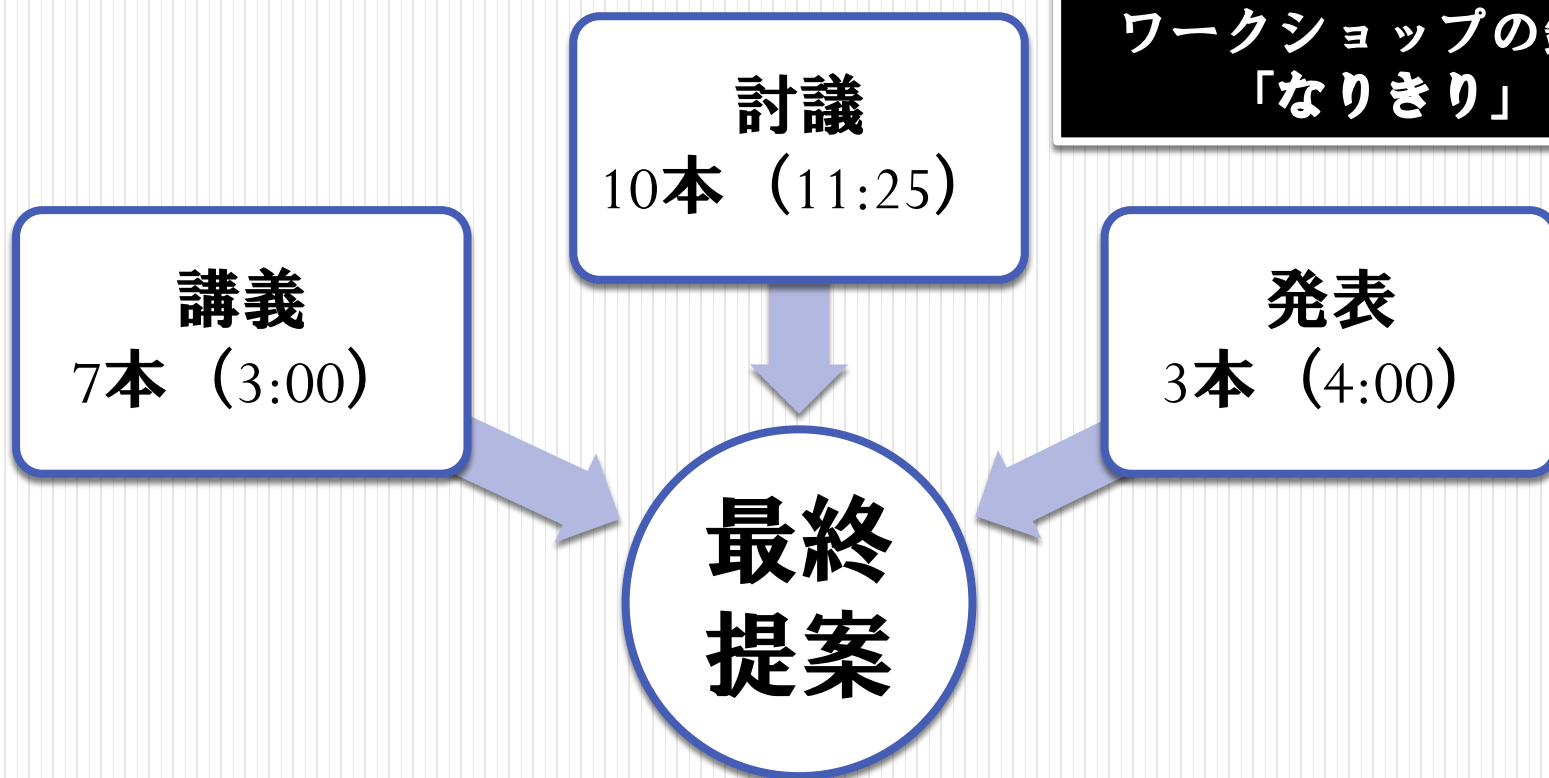
- 最新のウェブ技術や情報サービスの概要を理解し、**所属機関において必要とされる新たな学術情報の提供・発信サービスを企画立案**できるようになる。

方法：

- グループごとに企画したいサービスを提案し、そのサービスの開発を促す企画提案書（館内・学内での承認を得るための書類）と、要求仕様書（企画提案書の承認を前提に、主に学外の開発受託ベンダーに要求事項を伝えるための書類）を作成する。
- その際、グループ討議を中心とし、ファシリテーターを交えたワークショップ形式で実施する。

ワークショップの重視

ワークショップの鉄則
「なりきり」



「企画立案」のイメージ

方向：

1. サービスの新規提案
2. (サービスの改善提案)

方法：

1. 企画提案書
VMSOとモックアップ：講義 (3) 参照
2. 要求仕様書
モックアップと論理表現：講義 (4) 参照

目安：

1. 企画提案
組織内部の人間が理解できる
2. 要求仕様
組織外部の人間が理解できる

研修の成果を最大化するために

研修の可能性と限界

3日間のできること

3日間ではできないこと

フォローアップの重要性

独力の限界

仲間とのネットワークの有難さ

ツナガリ形成をサポートする手立て

Twitter #NIIウェブ研修

講義、最終発表はUSTREAMで中継し、YouTubeで保存

Facebook - NII学術ポータル担当者研修同窓会グループ

2011年度、2012年度、2013年度、2014年度の受講者も参加中

非公式懇親会

連日開催（参加者募集中）

明日は、第10大学図書館交流会×ウェブ研同窓会を開催



グループ討議

ファシリテーター（敬称略）：

- 1班：
■ ○○
- 2班：
■ ○○
- 3班：
■ ○○
- 4班：
■ ○○
- 5班：
■ ○○
- 6班：
■ ○○

グループ討議

ファシリテーターは、各班に1名です。

しかし、ファシリテーターは、担当班だけのファシリテーションが役割ではありません。

声をかけられた班、興味・関心をそそられた班にも、ファシリテーターは出向きます。

積極的に、ファシリテーターの知識と経験を活用しましょう。

グループ討議（1）

「アンカンファレンスによる発想展開」

11:15-13:00（105分）

「アンカンファレンス」というワークショップ手法で、各自がいま一番扱いたいテーマを集約していきます。
「アンカンファレンス」については、別途説明します。

《休憩》

13:00-14:00 (60分)

神保町のランチをお楽しみください。

グループ討議（2）

「アンカンファレンスからのグループ形成」

14:00-14:30（30分）

3日間、扱うテーマとを一緒に過ごす仲間を決定します。

グループ討議 (3)

「アイスブレイクによるグループ内理解」

14:30-15:00 (30分)

3日間を一緒に過ごす仲間です。
まずは、これまでの内容を振り返りながら、
自己紹介をしましょう (アイスブレイク)。

講義 (3)

「サービスの企画」

15:00-15:30 (30分)

岡本 真

アカデミック・リソース・ガイド株式会社

代表取締役／プロデューサー

《休憩》

15:30-15:45 (15分)

本日最後の休憩です。

グループ討議（4）#1 「サービス企画のブレインライティング」

15:45-16:45（60分）

＜ブレインライティングシートの使い方#1＞

1. 1行に3コマある欄に「課題」を記入します。
2. 前の行の「課題」を発展させても構いません。
3. 書き終えたら、左側のメンバーにシートを渡します。
4. 1回2分で、合計12分でシートに記入します。

グループ討議（4）#2 「サービス企画のブレインライティング」

15:45-16:45（60分）

＜ブレインライティングシートの使い方#2＞

1. 1枚のシートにある18の「課題」を評価します。
2. 同意する「課題」に「☆」を1つだけつけます。
3. つけ終わったら、左側のメンバーにシートを渡します。
4. 1回1分で、合計6分でシートに記入します。

グループ討議（4）#3 「サービス企画のブレインライティング」

15:45-16:45（60分）

＜ブレインライティングシートの使い方#3＞

1. シートを切り離し、「☆」の数ごとにまとめます。
2. 「☆」が多い順にアイデアを配置・整理します。
3. 付箋やペンも使って、「課題」を分類します。

グループ発表（1）

「サービス企画第一案の発表」

16:45-17:15（30分）

模造紙の前に集まり、グループごとに発表します。

他のチームのメンバーは、発表チームの模造紙の前に、付箋とペンを持って集まりましょう。

発表を聞きながらコメントを付箋に記し、模造紙に貼り付けましょう。

◆グループ発表3分

◆他グループメンバーによる付箋コメント1分

自由討論

17:15-17:45 (30分)

自分たちのチーム内での振り返り、
または他のチームへのさらなるアドバイス

続きは懇親会で

学術情報ウェブサービス担当者研修 Day1

2015年9月2日（水）

国立情報学研究所（NII）

コーディネーター：

岡本真

ファシリテーター：

千葉浩之、遠山正宏、森美由紀、
常川真央、塩野真弓、石黒康太

アシスタント：

藤田方江、高井浩司